

北海道 オホーツク管内. 美幌町 (びほろ)

『経営継承方式』による『新規就農者』募集要領

現在、美幌町では 離農予定者の**住宅・農地等を一括**で
引き継ぎ、**野菜出荷グループの構成員**となる新規就農研修生
を『**1組限定**』で大募集しています。

(経営継承の概要)

I 経営継承予定資産の概要

- ①住宅：築37年・延床面積45㎡・6LDK、むろ付
※住宅は住宅地に位置し、小中学校までの距離は約1.8km
- ②農地：537a(圃場は4筆)
※内、住宅裏手に17aの圃場がありハウス用地に最適。
(取得方法・取得額については就農前に調整し契約となります)
- ③倉庫：3棟(旧畜舎含)
- ④農業機械：無し。

II 就農時に“野菜出荷グループ”へ構成員として加入が可能

①野菜出荷グループの概要

○団体名

香土鮮緑(こうどせんりょく)合同会社 (概要の詳細～別紙)

○団体の経歴・販売取扱高

- ・平成10年設立後、平成24年度より合同会社
- ・平成28年度販売取扱高 9,500万円
- ・" 29年度 " 1億1,000万円
- ・" 30年度販売取扱計画 1億2,000万円

○香土鮮緑の特徴

経験豊富なリーダーを中心に生産者6戸からなる団体。地域の市場、量販店から“地産地消”要望の強いレタス等の品目を契約栽培にて安定供給し、生産者の安定所得を図るとともに地域への貢献を果たすことをめざして組織された野菜出荷グループである。

○香土鮮緑には“新規就農者”の先輩が2組加入しています！

- ・平成21年度. 就農者（大阪府出身・女性2名. 共同経営体）
- ・平成30年度. 就農者（北海道出身・男性）

Ⅲ 新規就農研修生・受入条件

- ①美幌町内で農業を営む意思のある農業経営に意欲的な方。
- ②20歳以上40歳以下の妻帯者（独身者は不可）
- ③初期投資に必要な自己資金をある程度額、有する方。
- ④身元連帯保証人2名が確保できる方。

Ⅳ 美幌みらい農業センターでの研修

- ①3年間の研修期間を修了したのちに就農となります。
- ②みらい農業センターは独自で所有する、約15畝の研修圃場（ビニールハウス550坪含）と農業機械・施設を活用し、専任指導者の指導のもと、地域の基幹作物である畑作物（小麦、てん菜、馬鈴薯、豆類）及び園芸作物（人参、アスパラガスなど）の栽培法から販売にいたるまでを実践的に研修します。
また、高収益性の高い新規作物についても研修します。
- ③農家研修は経営継承先または先進的な農業者宅で実施します。
- ④冬期間は外部講師を招き多種多彩な農業講座を受講します。
- ⑤就農前の営農計画の作成、資金借入の申請についても指導します。

Ⅴ 新規就農研修生への支援制度

- ① 研修期間中 （町）月額補助金、家賃助成金
（国）農業次世代人材投資（準備型）事業
- ②就農開始時 就農奨励補助金
- ③農地の取得額・賃貸料に対する補助金など
※就農時の運転資金の調達は北海道からの貸付金制度が別途あり。

Ⅵ 美幌町における新規就農者の就農実績

平成15年度	第1期研修生	1組	が就農
平成16年度	第2期	”	2組が就農
平成17年度	第3期	”	2組が就農
平成18年度	第4期	”	2組が就農
平成19年度	第5期	”	1組が就農
平成20年度	第6期	”	1組が就農
平成21年度	第7期	”	2組が就農
平成27年度	第8期	”	1組が就農
平成30年度	第9期	”	1組が就農
	合計		13組

※上記のうち、経営継承方式での新規就農者が3組。

経営継承物件の様子



就農先の住宅



住宅からの眺め（小中学校へは約 1.8 km）



住宅に隣接する倉庫（3棟）



住宅裏手の農地



一部、農地の様子（約 180a、自宅から約 3 km）



合同会社 香土鮮緑のメンバー

【美幌町の横顔】

1 美幌町の紹介

美幌町は北海道の北東部・網走管内の南東部に位置し、東西 33.8km 南北 32.9km からなる、総面積 43,836ha・総人口約 20,000 人の町です。

阿寒国立公園の東玄関口に位置する本町には、カルデラ湖としては世界第 2 位のスケールを誇る屈斜路湖を眼下に見下せる景勝地・美幌峠があり、年間 80 万人の観光客が訪れています。

2 地勢

東部地区には屈斜路火山部の外輪山である藻琴山（標高 1,000m）と美幌峠（標高 525m）があり、国有林を中心とする山林地帯となっていますが、西部地区は釧北峠に源を発する網走川が南北へと貫流し、市街地北部で合流する美幌川とともに網走湖を経てオホーツク海へと注いでおり、その両岸には帯状の沃野が形成されています。清らかな水と肥沃な大地が広がる美幌町は、約 10,700ha の農地を有する農業を基幹産業とする町として、発展を遂げてきました。

3 気象

オホーツク海流・海霧・流氷の影響を受けやすく、7～8 月には一時高温を記録するものの年間を通して冷涼な気候（年平均気温 5℃前後）にありますが、年間降水量は約 700 mm と少なく、日照率は全国でも有数の高い地域となっています。

4 美幌農業の姿

本町は積雪寒冷という自然条件の制約を受けながらも、専業農家を主体に農業施設の近代化や高度生産技術の導入を図り、畑作 3 品（甜菜・麦類・馬鈴しょ）を中心とする農業経営を展開してきましたが、近年、厳しさを増している農業情勢に対応するため、「安全・安心な農業」と「足腰の強い農業」の確立を目指し、効率的かつ安定的な経営体である農業担い手の育成と確保に取り組んでいます。



(相談窓口) 美幌町経済部美幌みらい農業センター
〈所在地〉北海道網走郡美幌町字美富 2 9 番地 1

TEL (0152) 75-2324

FAX (0152) 75-2325

(ホームページアドレス)

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/>

(Eメールアドレス)

mirais@town.bihoro.hokkaido.jp